

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホームふれあ	階数	地上4階建
建設地	京都府京田辺市同志社山手2丁目1	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域、法22条地域	平均居住人員	110人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 0.0	評価の実施日	2015年5月12日
敷地面積	3,961㎡	作成者	アーキプランニングオフィス 岡崎 雅
建築面積	1,702㎡	確認日	
延床面積	5,945㎡	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 69%
③上記+②以外の 69%
④上記+ 69%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合 室内環境の充実、サービス性能の充実を行い、また周辺環境への配慮、周辺地域との調和を目指した建物とした。		0
Q1 室内環境 界壁の遮音性能等に配慮した。	Q2 サービス性能 耐力壁の配置を抑え、自由度のある空間とした。	Q3 室外環境(敷地内) 空調設備の排熱、厨房からの排気は、出来る限り屋上へ配置し、周辺への暑熱環境に配慮した。
LR1 エネルギー 太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの活用を行った。 開口部には、バルコニー等で庇形状となるものを設置し、カーテンレールを設けることでさらに温熱環境への配慮を行った。	LR2 資源・マテリアル ODP=0発泡剤を用いた断熱材を使用した。	LR3 敷地外環境 駐輪、駐車スペースを適正に配置し、周辺への交通環境へ配慮した。 広告照明等は設置せず、周辺への光害に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される